

# あぶしん景況レポート

## 2020年7～9月期



あぶくま信用金庫  
総合企画部

Vol.1 2020.11 発行

### 当地区の概況

#### 【業種別天気図】

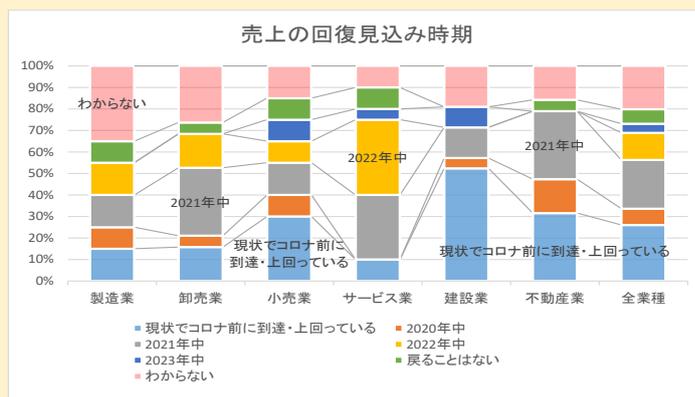
調査対象:120社

業種別	総 合	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービ 業	建 設 業	不 動 産 業	総 合 D.I.
2020年 4～6月								
2020年 7～9月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☂	▲ 30.8
2020年 10～12月 (見通し)	☂	☂	☁	☂	☂	☂	☁	▲ 30.8

- 2020年7～9月期（今期）の業況判断D.I.は▲30.8となった。
- 2020年10月～12月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲30.8と今期と同水準を見込んでいる。  
業種別にみると、建設業の来期予想D.I.は▲23.8と今期より悪化する見込みだが、卸売業は10.5ポイント、不動産業は5.0ポイントの改善を見込んでいる。

### 特別調査 - 新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応 -

- 売上がコロナ前の水準に回復する時期は、「現状でコロナ前に到達・上回っている」とする割合が小売業、建設業で最も高くなった。  
その一方で、卸売業は「2021年中」、サービス業は「2022年中」とする割合が最も高くなった。



#### 【業況判断天気図】



業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>  
各支店へ！



携帯・スマートフォンの方はQRコードを！  
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん  
<http://www.abukuma.co.jp/>



## 製造業

### 業況判断D. I.

調査対象：20社

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期	0.0	20.0	10.0	45.0	25.0	▲ 50.0
来期	5.0	10.0	25.0	35.0	25.0	▲ 45.0

業況判断D. I. は今期▲50.0、来期▲45.0となった。受注がコロナ前の水準まで戻るとする企業は少数で、大半の企業がコロナ前の水準まで戻るには時間がかかると考えている。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	-	55.0%
2	利幅の縮小	-	25.0%
3	同業者間の競争の激化	-	20.0%
3	人件費の増加	-	20.0%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	販路を広げる	-	70.0%
2	経費を節減する	-	50.0%
3	人材を確保する	-	30.0%

## 卸売業

### 業況判断D. I.

調査対象：19社

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期	5.3	10.5	42.1	21.1	21.1	▲ 26.3
来期	0.0	26.3	31.6	21.1	21.1	▲ 15.8

業況判断D. I. は今期▲26.3、来期▲15.8となった。やや良いと回答した企業の増加によりD. I. は改善の見通しとなったが、売上の停滞・減少を経営課題とする企業が多くなった。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	-	63.2%
2	利幅の縮小	-	42.1%
3	同業者間の競争の激化	-	31.6%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	販路を広げる	-	73.7%
2	経費を節減する	-	63.2%
3	情報力を強化する	-	36.8%

## 小売業

### 業況判断D. I.

調査対象：20社

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期	10.0	20.0	15.0	50.0	5.0	▲ 25.0
来期	0.0	15.0	40.0	40.0	5.0	▲ 30.0

業況判断D. I. は今期▲25.0、来期▲30.0となった。特別調査では売上高はコロナ前の水準に到達・上回っているとする割合が高いが、業況判断を良い、やや良いとする企業は減少している。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	-	60.0%
2	人手不足	-	35.0%
3	同業者間の競争の激化	-	25.0%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	経費を節減する	-	45.0%
2	人材を確保する	-	35.0%
3	宣伝・広告を強化する	-	30.0%

## サービス業

### 業況判断D.I.

調査対象：20社

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期	5.0	5.0	30.0	35.0	25.0	▲ 50.0
来期	5.0	10.0	20.0	45.0	20.0	▲ 50.0

業況判断 D. I. は今期▲50.0、来期▲50.0となった。特別調査では売上高が回復する時期は 2022 年とする企業が多くなったほか、商圏人口の減少が経営課題の 3 位となった。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	-	55.0%
2	人件費の増加	-	30.0%
3	利幅の縮小	-	25.0%
3	商圏人口の減少	-	25.0%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	販路を広げる	-	45.0%
1	経費を節減する	-	45.0%
3	宣伝・広告を強化する	-	40.0%

## 建設業

### 業況判断D.I.

調査対象：21社

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期	4.8	9.5	61.9	23.8	0.0	▲ 9.5
来期	0.0	14.3	47.6	33.3	4.8	▲ 23.8

業況判断 D. I. は今期▲9.5、来期▲23.8となった。やや悪い、悪いと回答した企業の増加により D. I. は悪化したほか、人手不足を経営課題とする企業が多い。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	人手不足	-	61.9%
2	売上の停滞・減少	-	33.3%
3	下請けの確保難	-	23.8%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	人材を確保する	-	71.4%
2	技術力を高める	-	42.9%
3	経費を節減する	-	28.6%
3	教育訓練を強化する	-	28.6%

## 不動産業

### 業況判断D.I.

調査対象：20社

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期	5.0	0.0	65.0	30.0	0.0	▲ 25.0
来期	5.0	5.0	60.0	30.0	0.0	▲ 20.0

業況判断 D. I. は今期▲25.0、来期▲20.0となった。特別調査では売上高がコロナ前の水準に回復した企業と回復する時期を 2021 年中とする企業が同じになった。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	-	35.0%
2	同業者間の競争の激化	-	20.0%
3	利幅の縮小	-	15.0%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

	項目	前期	今期
1	人材を確保する	-	20.0%
2	販路を広げる	-	15.0%
2	経費を節減する	-	15.0%
2	提携先を見つける	-	15.0%

## 全国の概況

【全国業種別天気図】

回答社数: 13,772社

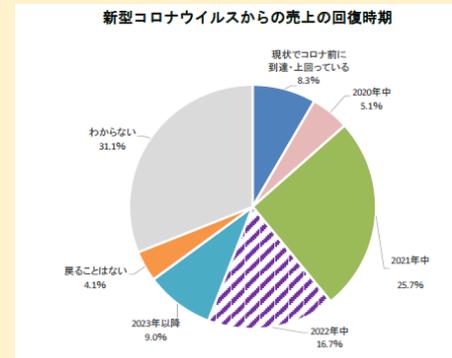
		総 合	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービス業	建 設 業	不 動 産 業	総 合 D.I.
全 国	2020年 4～6月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 56.9
	2020年 7～9月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 48.3
	2020年 10～12月 (見通し)	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☂	▲ 47.1
東 北	2020年 7～9月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 51.5

- 全国の2020年7～9月期（今期）の業況判断D.I.は▲48.3と、前期の過去最悪水準から8.6ポイントの改善となった。2020年10月～12月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲47.1と今期実績比1.2ポイントの小幅改善を見込んでいる。
- 東北地区の2020年7～9月期（今期）の業況判断D.I.は▲51.5と、前期から6.1ポイントの改善となった。2020年10月～12月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲49.8と今期実績比1.7ポイントの小幅改善を見込んでいる。

## 特別調査 - 新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応 -

- 売上がコロナ前の水準に回復する時期は、「わからない」が最も高くなった。
- 規模別にみると、規模が大きいほど「現状でコロナ前に到達・上回っている」の割合が高い。一方で、規模が小さいほど「戻ることはない」や「わからない」といった悲観的な回答の割合が高かった。

新型コロナウイルスからの売上の回復時期



### 全国の調査員からのコメント

- コロナによる往来自粛を受け、売上減少。対策として商品の保存期間を長くするパッケージの変更や人件費削減、新商品開発で対応。（菓子・雑貨卸、中国地区）
- コロナにより取引先の飲食店が業況悪化し、受注が大幅に減少。ネット販売や弁当販売などが好調であり、同部門の拡大を図る。（食肉卸、関東地区）

### 【調査要領】

1. 調査時期 2020年9月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差（判断D.I.）を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。